

PRODUCT CATALOGUE

Ova Cryo Kit

Ova Thawing Kit

- Ovarian Tissue Vitrification -



**Happiness,
for the Next Generations**

- 卵巣組織のガラス化凍結、融解液です。
- Square Measureを用いることで容易に卵巣切片を 10×10×1mm大に切り出すことができます。
- 凍結デバイスは、クローズおよびオープン・システムがあり選択できます。
- 凍結処理前の卵巣洗浄および乾燥防止にはOva Rinseのご利用を、融解処理後の追加培養にはOva Cultureのご利用を推奨します。

共同開発：聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授 鈴木 直 先生 /
HORAC グランフロント大阪クリニック 院長 森本 義晴 先生

REF	コード	製品名	内容
82212	VT301S	Ova Cryo Kit Type M	Cryo1-20mL、Cryo2-20mL、Cryo3-20mL
82222	VT302S	Ova Thawing Kit Type M	Thaw1-100mL、Thaw2-20mL、Thaw3-20mL
82215	OVR-100	Ova Rinse	100mL
82216	OVCL-100	Ova Culture	100mL
82217	OVCM-100	Ova Culture with HEPES	100mL
81212	Square Measure	Square Measure (Cutter Plate)	5個/パック
81213	ODT×10	Ova Cryo Device Type M (Open System)	10個/パック
81214	OCS10	Ova Cryo Sheet (Closed System)	10個/パック Ova Cryo Sheet用パウチ×2枚 専用ケーン：KOCC ×1本
81215	KOCC10	Ova Cryo Sheet Cane	10個/パック

成分

VT301S / VT302S

HEPES within Basic culture medium /
Ethylene glycol / Gentamicin /
Human serum albumin / Sucrose

OVR-100 / OVCL-100 / OVCM-100

Calcium chloride / Gentamicin / Glucose /
Human serum albumin / Magnesium sulfate /
Potassium chloride / Potassium phosphate /
Sodium bicarbonate / Sodium chloride /
Sodium lactate / Sodium pyruvate
OVR-100 / OVCM-100 : HEPES

品質管理

VT301S / VT302S

pH 7.2-7.6 / 浸透圧 / エンドトキシン <0.25EU/mL / 無菌試験
冷蔵保存 2~8°C
有効期限 製造日より12ヶ月

OVR-100 / OVCL-100 / OVCM-100

pH 7.2-7.6 / 浸透圧 270-295mOsm/L / エンドトキシン <0.25EU/mL /
無菌試験 / Mouse embryo assay ≥80%
冷蔵保存 2~8°C
有効期限 OVR-100 / OVCM-100 : 製造日より8ヶ月
OVCL-100 : 製造日より4ヶ月

ODT×10 / OCS10 / Square Measure

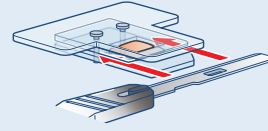
エンドトキシン ≤0.5EU/unit(EU/mL) / Mouse embryo assay ≥80%
保存温度 15~30°C
有効期限 製造日より3年

凍結

- 01** 卵巣組織をOva Rinse(REF. 82215)で洗浄し、組織の乾燥に気を付けながら、卵巣切片を約10×10×1mm大に切り出します。

※Square Measure(REF.:81212)を用いることで、手早く一定サイズに切り出せます。

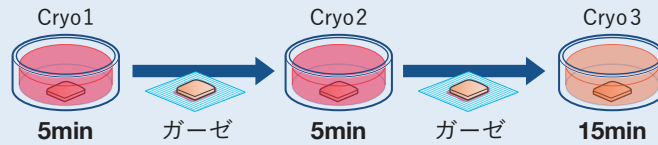
Square Measure



卵巣切片
(10×10×1mm)

- 02** 適切なサイズに準備した卵巣切片を、室温に戻したOva Cryo Kit Type M(REF. 82212)で平衡させます。Cryo1で5分、Cryo2で5分、Cryo3で15分の順番で平衡します。

※次の試案に移動する前に都度、卵巣切片をガーゼで拭き、前処理の試案の持ち込みを減らします。

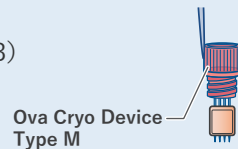


- 03** Cryo3での平衡が完了したら、卵巣切片をガーゼで拭き、表面積が最大になるように凍結デバイスに載せます。

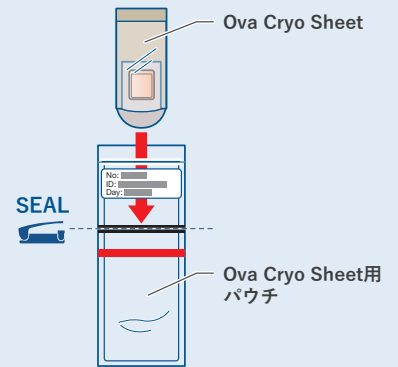
- (A) Open System : Ova Cryo Device Type M(REF. 81213)
金属部の上に卵巣切片を載せます。

- (B) Closed System : Ova Cryo Sheet(REF. 81214)
本体のフィルム部分を捲って卵巣切片を載せ、フィルムを被せたらOva Cryo Sheet用パウチに入れ、空気を抜いて黒線上でヒートシーラーを用いてシールします。

(A) Open System



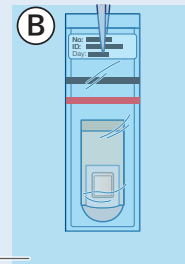
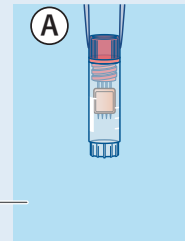
(B) Closed System



- 04** (A) 凍結デバイスを液体窒素 (LN₂) に投入します。液体窒素下で蓋を閉めます。

- (B) 凍結デバイスを液体窒素 (LN₂) に投入します。

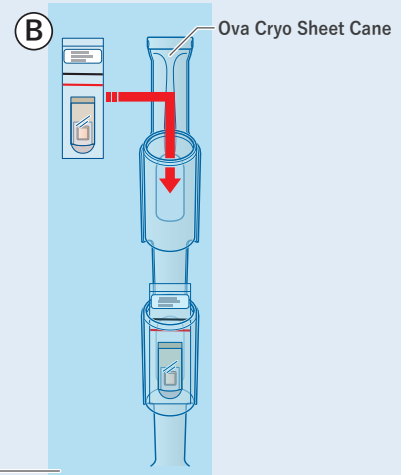
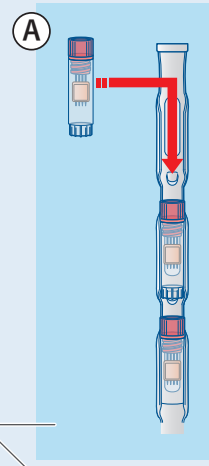
液体窒素(LN₂)



- 05** (A) 凍結デバイスをケーンにはめ、タンクで保存します。

- (B) 凍結デバイスを付属のOva Cryo Sheet Cane(REF. 81214、81215)にはめ、タンクで保存します。

液体窒素(LN₂)



融解

01 凍結デバイスを保管タンクから取り出し、液体窒素に投入します。

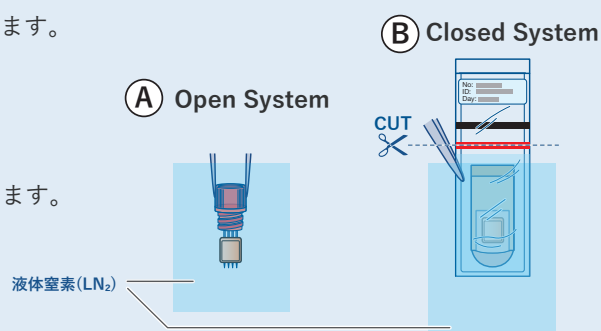
(A) Open System : Ova Cryo Device Type M

液体窒素下で蓋を外します。

(B) Closed System : Ova Cryo Sheet

本体を液体窒素に浸けたままパウチの赤線上でカットします。

※この際、パウチ内に液体窒素が入らないよう注意します。



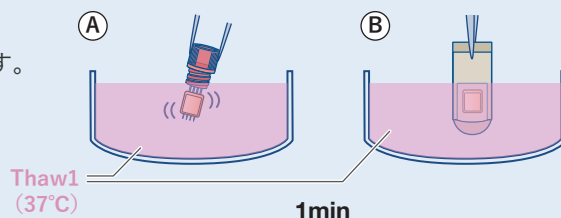
02 Ova Thawing Kit Type M (REF. 82222) を使って融解します。

(A) 開封した凍結デバイスを、ウォーターバスで

予め37°Cに温めたThaw1に移し、Thaw1中で軽く振ります。

(B) 開封した凍結デバイスを、ウォーターバスで

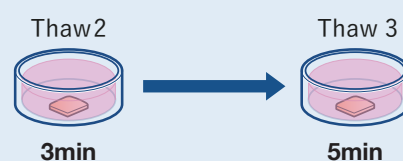
予め37°Cに温めたThaw1に移します。Thaw1中でフィルムを剥がし卵巣切片をデバイスから外します。



03 Thaw1で1分平衡した後、室温に戻したThaw2、Thaw3で平衡します。

まず卵巣切片をThaw2に移し、3分間浸漬させます。

その後Thaw2からThaw3に移し、5分間浸漬させます。



04 Thaw3での融解処理が完了したら、移植等の作業に移ります。

○融解直後に移植をする場合は、Ova Culture with HEPES (REF. 82217) で30分間追加培養を行ってください。

○30分以上追加培養を行う際は、Ova Culture (REF. 82216) を使用し、インキュベータ内で行ってください。

株式会社北里コーポレーション

本社 : 〒416-0932 静岡県富士市柳島100番地10
東京オフィス : 〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目1番8号

URL <https://www.kitazato.co.jp/> Mail info@kitazato.co.jp

お電話でのお問い合わせ

☎ 0120-457-454

FAXでのご注文先

📠 0120-111-471